

ご挨拶

皆さまにおかれましては、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

当財団はコロナ禍で様々な制約を受けながらも、皆さまのお陰をもちまして2020年度の事業活動を無事に終了いたしましたので、「Diaレポート2020」をお届けいたします。

2020年度は新型コロナウイルスが社会生活に大きな影響を及ぼした一年でした。自粛生活を強いられる環境の中で、人々がコミュニケーションを維持するためにICTが飛躍的に普及した年でもあります。そのような中で2020年10月に開催された「第15回日本応用老年学会大会」の大会長を当財団石橋研究部長が拝命し、当財団が民間研究機関で初めて大会運営を務める機会を頂戴しました。当初は明治安田生命保険相互会社の本社会議室をメイン会場として開催する予定でしたが、新型コロナウイルスの影響から会場開催を断念し、当財団の会議室等からのオンライン配信を選択しました。2日間の全プログラムをすべてライブ配信で行い、大きなトラブルもなく成功裏に終えることができました。関係者の方々にはこの場を借りて感謝申し上げます。

当財団は1993年の設立以来、民間研究機関として高齢社会における健康、経済、生きがい等に関する様々な調査・研究に取り組み、結果を広く社会に発信するとともに活動成果の普及に努めてまいりました。引き続き、行政・学会・産業界・民間諸団体並びに高齢者の方々との連携を強め、諸課題の解決に向けて実りある調査研究に努めてまいる所存です。本レポートは2020年度における当財団の活動実績をできるだけ分かりやすく皆さまにお知らせするものです。

皆さまにおかれましては、引き続き幅広いご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げますとともに、財団の諸活動につきまして、忌憚のないご意見をお寄せいただければ幸いに存じます。

理事長 石塚 博昭

